

「日本産業技術大賞」受賞一覧（第1回～第39回）

日刊工業新聞社

◇第1回（昭和47年）

内閣総理大臣賞「群自動制御工作機械システム」富士通、池貝鉄工、大隈鉄工所、東芝機械、日立精機、牧野フライス製作所、工業技術院機械技術研究所

◇第2回（昭和48年）

内閣総理大臣賞「自動鑄造システム」総合鑄物センター自動鑄造設備開発研究部会

◇第3回（昭和49年）

内閣総理大臣賞「高性能電子計算機システムの開発と波及効果」沖電気工業、東京芝浦電気、日本電気、富士通、工業技術院電子技術総合研究所、東光、日立製作所、三菱電機

◇第4回（昭和50年）

内閣総理大臣賞「大規模全自動音声応答システムの実用化」日本国有鉄道、日立製作所

◇第5回（昭和51年）

内閣総理大臣賞「超大型鍛鋼品製造システムの開発」日本製鋼所

◇第6回（昭和52年）

内閣総理大臣賞「直接重合用高純度テレフタル酸の新製造法」丸善石油、松山石油化学

◇第7回（昭和53年）

内閣総理大臣賞「視覚認識を用いたLSI自動組立システム」日立製作所

◇第8回（昭和54年）

内閣総理大臣賞「クローズド地熱発電システム」工業技術院地質調査所、日本重化学工業、東北電力、東京芝浦電気

◇第9回（昭和55年）

内閣総理大臣賞「大容量LNG地下式貯槽の開発」東京瓦斯、石川島播磨重工業、三菱重工業、清水建設、鹿島建設

◇第10回（昭和56年）

内閣総理大臣賞「パターン情報処理総合システムプロトタイプの開発」パターン情報処理システム技術研究組合、東京芝浦電気、日本電気、日立製作所、富士通、三菱電機、工業技術院電子技術総合研究所

◇第11回（昭和57年）

内閣総理大臣賞「新ファクシミリ通信方式の開発・実用化」日本電信電話公社、日本電気、富士通、日立製作所、東京芝浦電気、松下電送、田村電機製作所、沖電気工業

◇第12回（昭和58年）

内閣総理大臣賞「航空機用ジェットエンジンの研究開発」航空機用ジェットエンジン技術研究組合、石川島播磨重工業、川崎重工業、三菱重工業、科学技術庁航空宇宙技術研究所

◇第13回（昭和59年）

内閣総理大臣賞「磁気カードによる高速道路料金収受システム」日本道路公団、三菱重工業、東芝

◇第14回（昭和60年）

内閣総理大臣賞「大容量高効率複合発電設備の開発実用化」東北電力、三菱重工業、三菱電機

◇第15回（昭和61年）

内閣総理大臣賞「深宇宙探査用追跡管制システム」三菱電機、日本電気、富士通、大成建設、文部省宇宙科学研究所

◇第16回（昭和62年）

内閣総理大臣賞「配電線自動制御システム」九州電力、東芝、九州電機製造

◇第17回（昭和63年）

内閣総理大臣賞「H-Iロケットの開発」宇宙開発事業団、科学技術庁航空宇宙技術研究所、三菱重工業、石川島播磨重工業、日産自動車、日本電気、日本航空電子工業、三菱プレジジョン、三菱スペース・ソフトウェア

◇第18回（平成元年）

内閣総理大臣賞「瀬戸大橋の建設技術開発」本州四国連絡橋公団、石川島播磨重工業、鹿島建設、川崎重工業、熊谷組、神戸製鋼所、新日本製鉄、大成建設、西松建設、NKK、三菱重工業、宮地鉄工所、横河橋梁製作所

特別賞「青函トンネル」日本鉄道建設公団、鉄道総合技術研究所、鹿島建設、熊谷組、大成建設、鉄建建設、日本電設工業、間組、日立製作所、前田建設工業

◇第19回（平成2年）

内閣総理大臣賞「深海潜水調査船『しんかい6500』システムの開発」海洋科学技術センター、三菱重工業、川崎重工業、神戸製鋼所、昭和高分子、三菱電機、日本電池、沖電気工業、日本電気、古野電気、鶴見精機、横浜ゴム

◇第20回（平成3年）

内閣総理大臣賞「東京証券取引所 立会場事務合理化システムの開発」東京証券取引所、富士通

◇第21回（平成4年）

内閣総理大臣賞「新世代新幹線車両システムの開発」東海旅客鉄道、東日本旅客鉄道、鉄道総合技術研究所、川崎重工業、日本車輛製造、東急車輛製造、日立製作所、東芝、三菱電機、富士電機、東洋電機製造、住友金属工業

◇第22回（平成5年）

内閣総理大臣賞「高脂血症治療薬プラバスタチンの開発と醗酵生産システム」三共

◇第23回（平成6年）

内閣総理大臣賞「SPB方式LNG船の開発と実用化」石川島播磨重工業

◇第24回（平成7年）

内閣総理大臣賞「新規残油分解プロセス技術の開発と実用化」コスモ石油、コスモ総合研究所、重質油対策技術研究組合

◇第25回（平成8年）

内閣総理大臣賞「パーソナルハンディホンシステムの開発と実用化」日本電信電話、NTT中央パーソナル通信網、DDI東京ポケット電話、アステル東京
審査委員会特別賞「放射線医学総合研究所向け重粒子線がん治療装置」三菱電機、住友重機械工業、東芝、日立製作所、科学技術庁放射線医学総合研究所

◇第26回（平成9年）

内閣総理大臣賞「フルタイムFDIリジェネレイティブバーナシステムの開発と実用化」東京ガス

◇第27回（平成10年）

内閣総理大臣賞「サーボモータの高度ロボット化自動生産システムの開発」ファナック、富士電機

◇第28回（平成11年）

内閣総理大臣賞「改良型沸騰水型原子力発電所初号機の完成」東京電力、日立製作所、東芝、GE Nuclear Energy

◇第29回（平成12年）

内閣総理大臣賞「高効率大容量ガスタービンを使用した複合発電設備の開発実用化」東北電力、三菱重工業、三菱電機
審査委員会特別賞「大型光学赤外線望遠鏡（すばる望遠鏡）を実現した主要革新技術」三菱電機

◇第30回（平成13年）

内閣総理大臣賞「天然液化ガスの精密蒸留による ^{13}C の分離技術とピロリ菌診断薬の開発・実用化」東京ガス、大塚製薬
文部科学大臣賞「紀伊水道直流連系用交直変換設備の完成」関西電力、四国電力、電源開発、日立製作所、東芝、三菱電機、日新電機

審査委員会特別賞「超音速航空機用コンバインド・サイクル・エンジンの研究開発」
超音速輸送機用推進システム技術研究組合、石川島播磨重工業、川崎重工業、
三菱重工業、独立行政法人航空宇宙技術研究所、独立行政法人産業技術総合研
究所

◇第31回（平成14年）

内閣総理大臣賞「Suica（ICカード出改札システム）」東日本旅客鉄道
文部科学大臣賞「沸騰水型原子炉のシュラウド取替工事の完遂」東京電力、日本原
子力発電、中国電力、日立製作所、東芝、GE Nuclear Energy
審査委員会特別賞「加圧二段ガス化システムによるケミカルリサイクル技術」宇部
興産、荏原製作所
審査委員会特別賞「超高密度リアルタイム地震防災システム（SUPREME）の開発・
実用化」東京ガス

◇第32回（平成15年）

内閣総理大臣賞「地球シミュレータ」宇宙開発事業団、日本原子力研究所、海洋科
学技術センター、NEC
文部科学大臣賞「航空機用ローコストCFRP（KMS6115）の開発と、国際
共同プログラムへの適用」川崎重工業
審査委員会特別賞「新オンライン加速冷却技術”スーパーOLAC”の開発と実用
化」JFEスチール
審査委員会特別賞「放熱性薄鋼板（コーベホーネツ）」神戸製鋼所

◇第33回（平成16年）

内閣総理大臣賞「ワンチップ MPEG-2 HDTVコーデックLSI『VASA
A』の開発」日本電信電話
文部科学大臣賞 金属光造形複合加工機「M-PHOTON 25C」松浦機械製
作所、松下電工
審査委員会特別賞「フリクションスポット接合法の開発と実用化」川崎重工業

◇第34回（平成17年）

内閣総理大臣賞「『新原料リサイクル技術』によるPETボトルリサイクル」帝人
ファイバー
文部科学大臣賞「『理研スーパー・コンバインド・クラスタ』～次世代大型計算機
センターのモデル～」理化学研究所、富士通
審査委員会特別賞「閉鎖式燃料電池を搭載した深海巡航探査機『うらしま』の開発」
海洋研究開発機構、三菱重工業、日本製鋼所、日本航空電子工業
審査委員会特別賞「GPS津波計測システム」日立造船、東京大学地震研究所、港
湾空港技術研究所、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

◇第35回（平成18年）

内閣総理大臣賞「水和物スラリを用いた新空調システムの開発と実用化」JFEエ
ンジニアリング

文部科学大臣賞「液体窒素冷却全超電導モータの開発」石川島播磨重工業、住友電気工業、大陽日酸、ナカシマプロペラ、新潟原動機、日立製作所、福井大学大学院杉本英彦教授、富士電機システムズ
審査委員会特別賞「新幹線の新しい列車制御システム『SAINT』」東日本旅客鉄道、日立製作所

◇第36回（平成19年）

内閣総理大臣賞「短ギャップ・高濃度オゾン発生器」三菱電機
文部科学大臣賞「ArF液浸露光システム用材料の開発」JSR
審査委員会特別賞「酸素18標識水の量産プラントの開発」大陽日酸、東京工業大学浅野康一名誉教授

◇第37回（平成20年）

内閣総理大臣賞「スクリュ式小型蒸気発電機（M. S. E. G.）」神戸製鋼所、神鋼商事、神鋼造機、テイエルブイ
文部科学大臣賞「ビル空調用冷温水圧損低減剤『エコミセル』の開発」大阪ガス
審査委員会特別賞「原油タンカー排出ガス処理設備」新日本石油、新日本石油基地
審査委員会特別賞「NATMとシールドを融合した新しいトンネル工法（SENS）の開発と実用化」鉄道建設・運輸施設整備支援機構、鉄道総合技術研究所、地域地盤環境研究所、熊谷組、三菱重工地中建機

◇第38回（平成21年）

内閣総理大臣賞「IGCC（石炭ガス化複合発電）実証機」クリーンコールパワー研究所
文部科学大臣賞「次世代ネットワーク（NGN）技術の開発」日本電信電話
審査委員会特別賞「ジャッキダウンによる高層ビル解体工法の開発」鹿島建設
審査委員会特別賞「架線レス低床電池駆動LRV『SWIMO』と大型ニッケル水素電池『ギガセル』の開発」川崎重工業
審査委員会特別賞「架線・バッテリーハイブリッド車両」鉄道総合技術研究所、東洋電機製造、ジーエス・ユアサコーポレーション、東急車輛製造、アルナ車両

◇第39回（平成22年）

内閣総理大臣賞「英国 High Speed 1 路線向け高速鉄道車両（Class395 車両）の開発」日立製作所
文部科学大臣賞「HTV/H-II B ロケットの開発」宇宙航空研究開発機構、三菱重工業、三菱電機、IHIエアロスペース、有人宇宙システム、宇宙技術開発、日本電気、川崎重工業、IHI、日本航空電子工業、三菱プレシジョン、三菱スペース・ソフトウェア
審査委員会特別賞「太陽光発電とガスエンジン発電機を主電源とした都市型マイクログリッドの実用化」清水建設
審査委員会特別賞「圧縮熱回収型蒸気駆動エアコンプレッサ」三浦工業、神戸製鋼所